

ellipse

[エリプス]

TOPICS

お茶の水女子大学の140年 ～ 意欲ある女性の学びの場として～

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

REPORT

夢のつばさ♥プロジェクトニュース

INFORMATION

お茶の水女子大学イベント情報
事務局よりお知らせ

お茶の水女子大学の140年

～ 意欲ある女性の学びの場として ～

2015年、お茶の水女子大学は創立140周年を迎えます。

大学本館1階のお茶の水女子大学歴史資料館では1月5日から「創立百四十周年記念特別展」が開催されており、11月29日(日)には記念式典が挙行される予定です。



明治初期にはじまる本学の資料は、日本の女子高等教育の歴史を物語る貴重なものです。1967年に設置された大学資料室は、1975年には女性文化資料館となり、本学の資料のみならず、女性に関する資料全般の収集にあたりました。

女性文化資料館は1986年に女性文化研究センター、1996年にはジェンダー研究センターへと発展し、国際的にも広く知られるところとなりました。ジェンダー研究センターでは、その活動の一つとして女性学・ジェンダー研究に関わる文献資料の収集を行っており、女子高等師範学校・東京女子高等師範学校出身の保井コノ、黒田チカ、辻村みちよ、湯浅年子ら日本の先駆的な女性自然科学者の資料を整理分類して目録を作成・公開しました。

大学史に関わる資料は、2006年に設置された歴史資料館に引き継がれました。

特別展では主に開校とその後の変遷、本学出身の女性研究者にスポットを当て、歴史を振り返るとともに、「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現される場として存在する」という大学憲章に掲げる理念の実現に向けた取り組みが紹介されています。

🌀 開学と最初の入学生 🌀

明治初期は「女性に学問は必要ない」という考え方が強い時代でしたが、政府に招聘されたお雇い外国人ダビッド・モルレーの意見を元に、時の文部少輔・田中不二麿が「女子師範学校設立の建議書」を提出したのを受け、文部卿・木戸孝允が設立の布達を出します。これに大きな期待を寄せた昭憲皇太后からは多額の御手許金が下賜され、お茶の水に東京女子師範学校が開学すると、学ぶ意欲にあふれた女性たちが全国から集結し、71名が入学しました(のちに3名が追加合格)。

開学当時は自費通学生以外には寄宿舎で生活しました。寝る時は当時まだ珍しかったベッドにシーツを使用し、食事には牛肉も出ましたが、そうした衣食住は一切官費でまかなわれました。また、夜の10時までは勉強の時間と定められていたそうです。

開学から140年の歩み

- 1875 東京女子師範学校開校式挙行
- 1876 附属幼稚園開園
- 1877 附属小学校設置
- 1882 予科廃止、附属高等女学校設置
- 1885 東京師範学校に合併、東京師範学校女子部となる
- 1890 高等師範学校女子部を分離、女子高等師範学校となる
- 1898 女高師卒業生等を対象に研究科設置
- 1908 東京女子高等師範学校と改称
- 1923 関東大震災、校舎焼失
- 1936 大塚に移転完了、落成式挙行
- 1947 附属高等女学校廃止、新制中学と高校に分離改組
- 1949 国立新制大学お茶の水女子大学設置
- 1950 文教育学部、理学部、家政学部を再編
- 1953 三学部で専攻科設置
- 1963 大学院修士課程家政学研究科設置
- 1964 大学院修士課程理学研究科設置
- 1966 大学院修士課程人文科学研究科設置
- 1976 大学院博士課程人間文化研究科設置
- 1981 本学より初めての課程博士号授与
- 1992 家政学部を生活科学部に改組
- 1997 大学院人文科学・理学・家政学研究科(修士課程)を人間文化研究科(博士前期課程)に改組
- 2004 国立大学法人お茶の水女子大学発足
- 2005 いずみナーサリー設置
- 2007 大学院重点化(人間文化研究科を人間文化創成科学研究科に改組)



青山千世



東京女子師範学校の第1回の入学試験に首席で合格したのが、青山（森田）千世です。

千世は、1857（安政4）年に水戸藩の儒家の家に生まれました。幕末から維新期の藩の内紛により父・延寿が蟄居を命じられ、困難な生活を余儀なくされましたが、そうした中でも「勉強の楽しさ」に目覚め、学校に通うことに強い憧れを持つようになります。1872（明治5）年に延寿の蟄居が解けると上京し、東京女子師範学校の最初の入学生となりました。

1875（明治8）年11月29日の開校式の際、千世は吉川若菜（名古屋）、古市洛（姫路）と共に在校生代表に選ばれ、昭憲皇太后の前で講義を行いました。千世はこの日のことを「深く御感賞アリテ同日又別ニ御前ニ召サレ賞典トシテ此野画具一函ヲ賜フ實ニ幸榮也」と書き記しています。

残念ながらこの野画具自体は逸して、どのような品だったのか今では分かりませんが、父・延寿の手により「千世修身之榮」と書きつけられた木製の外箱が残っています。

卒業後、千世は結婚し、一男三女をもうけました。次女は女性解放運動の先駆者となった山川菊栄です。山川は著作『このひとびと』（『山川菊栄集』第8巻）で、千世が卒業式で初代摂理（校長）中村正直より賜った「勤儉」の襖額を自室に掲げていたと回想しています。

今回の特別展では、これらの他に、千世が使用していた徽章のかんざしや在学中に書いたと思われる作文・漢詩等のノートなどが展示されています。中には今回が初公開となる資料もあります。



千世が自室に掲げていた「勤儉」の襖額



徽章のかんざし（青山千世遺品）



「創立百四十周年記念特別展」の展示より



小学師範科第1回卒業生の卒業記念写真：明治12(1879)年2月撮影、前列向かって右から2人目が青山千世



「創立百四十周年記念特別展」の展示より（青山千世資料）



女性研究者の輩出と後進の育成



当時の女子教育は、次世代を担う子どもを育てる「良き母親となるための教育」「女性教師の養成」に主眼がおかれ、研究者への道が女性に開かれていたとは言い難い状況でした。本学に博士課程が設置され、初めて課程博士が授与されたのは1981年。開学から実に100年以上を経た後のことです。

けれどもそれ以前にも、本学で学び、信念と努力によって道を切り拓き、研究者となった女性たちがいました。たとえば、理系分野では、我が国最初的女性博士となった保井コノ、我が国初的女子大生（女性理学士）、女性博士第2号となった黒田チカ、そして本学卒業後、フランスで博士号を取得した湯浅年子、人文科学系では、関根慶子（文学博士）の名前をあげることができます。日本の女医第一号である荻野吟子も卒業生の一人です。

保井らの存在が後輩に大きな刺激を与えたことは想像に難くありません。彼女たちの多くは本学の教授として実際に学生の指導にあたり、深く慕われる存在であったといえます。さらに女子大学設置運動、大学院設置運動など、女性が男性と対等に学ぶことができる環境を整えるべく奔走しました。

自らの研究にまい進するだけでなく、後進を思いやり、その育成にも力を注ぐ姿勢は、本学の伝統の一つと言えるでしょう。卒業生の名を冠した奨学金や本学出身の女性研究者ゆかりの奨励賞や助成金が多数設けられていることから、そのことが伺われます。



特別展示のPRのために誕生した、歴史資料館とMuSA (Museum Student Assistant) のイメージキャラクター「ちせちゃん」は、青山千世をモデルとしている。服装は当時の女学生の間で流行った「黄八丈」と、制服として支給された「小倉袴」

女性研究者の名前を冠した賞・助成金

関根賞	新進・中堅の女性研究者による平安時代の文学・語学研究を奨励することを目的とする。国籍・年齢を問わない。関根慶子博士が傘寿を迎えた頃、同じ女性国文学者らが「関根慶子女史に枯れない花束を捧げましょう」と呼びかけ、『平安文学論集』（1992、風間書房）が出版された。その印税で、女性研究者に賞を贈ることが企図され、志に加え、関根博士が多額の基金を提供して、1993年12月に実現した。
竹村和子 フェミニズム基金	竹村和子博士は、2011年12月に悪性腫瘍のため志半ばで他界したが、その直前の10月末、小康状態を得た際の会で「一般財団法人竹村和子フェミニズム基金」が発足した。フェミニズム／ジェンダー研究、または女性のエンパワメントや女性へのサポートの視点で実施される活動に資する研究・調査に対して、助成金を提供するもので、他の助成金への応募が困難な者にも広く開かれている。
湯浅年子賞	「お茶の水女子大学賞」の一つ。『Jusqu' au bout, 最後まで徹底的に』を信条として国際的に活躍した日本初の女性自然科学者である湯浅年子博士の遺志が若い世代に受け継がれることを願い、自然科学の諸分野において顕著な業績を挙げた女性を顕彰することを目的とする。大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構（KEK）が日仏共同事業として運営する「湯浅年子ラボラトリー（TYL）」の協力を得て、2013年4月に創設された。
黒田チカ賞	「お茶の水女子大学賞」の一つ。天然色素の構造について長年にわたって優れた研究を行い、日本初の女性化学者として活躍した黒田チカ博士の遺志が若い世代に受け継がれることを願い、自然科学の諸分野において活躍が期待される女性研究者を顕彰することを目的とする。新制大学の一期生として黒田博士の指導を受け、後に光有機化学を専門とする化学者となった故前田侯子名誉教授からの寄附をもとに、2015年1月に創設された。

本学の卒業生の名前を冠した奨学金

基金の名称	授与対象者	奨学金の額
錦織チサエ奨学金 (予約型奨学金)	本学大学院博士前期課程を修了し、引き続き本学大学院博士後期課程に進学する者(学内進学者)で、学業、人物ともに優れた者	500,000円
富永ふみ奨学基金	本学正規課程の私費外国人留学生で発展途上の国籍を有し、成績、人物ともに優秀であり、経済的支援を必要とする者	300,000円
保井・黒田奨学基金	自然科学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	30,000円
湯浅年子記念特別研究員奨学基金	本学出身者、在学する者又は附属高等学校出身者で、自然科学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	250,000円
化学科(宮島直美)奨学基金	本学理学部化学科4年生、大学院博士前期課程理学専攻化学・生物化学コース1年生及び大学院博士後期課程理学専攻化学・生物化学領域に在学する者で、成績等顕著な者	100,000円
生物学科(小沼英子)奨学基金	本学理学部生物学科に在学する者で、成績及び人物が優秀であり、本基金による支援が必要な者	500,000円 を限度
竹村和子海外研修奨学基金	本学大学院に在学する者で、成績顕著な者	1年目 2,000,000円 2年目 1,000,000円
竹村和子奨学基金	本学大学院博士前期課程に在学する者で、成績顕著な者	50,000円
菅聡子奨学基金	本学大学院博士後期課程において日本語日本文学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	250,000円
矢部吉禎・矢部愛子奨学基金	本学学部または大学院に在学する者で、植物学または数学を学ぶ者のうち、学業や研究能力に優れ、本奨学金による経済的支援を必要とする者	500,000円

創立百四十周年記念特別展は、年内はご覧いただくことができません。見学を希望される方は希望日の2週間前までに、ご希望日時と人数を下記までお問合せください。

資料提供：お茶の水女子大学
 協力：お茶の水女子大学歴史資料館
 参考：お茶の水女子大学 HP：<http://www.ocha.ac.jp/>
 お茶の水女子大学デジタルアーカイブス：<http://archives.cf.ocha.ac.jp/>
 お茶の水女子大学創立百四十周年記念特別展、特別展リーフレット：http://archives.cf.ocha.ac.jp/tenji_ocha140/

お茶の水女子大学図書・情報課 歴史資料担当
 E-mail：shiryo@cc.ocha.ac.jp
 TEL：03-5978-5567（月・金 10時～17時）

夢のつばさプロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

2015年夏キャンプ

- 【実施期間】 2015年8月4日～7日
 【開催地】 (株)ブリヂストン保養所奥多摩園(青梅市)
 【参加内訳】 小学生15名、中・高生9名、大学生スタッフ40名(入れ替わり有)、社会人スタッフ/協力者18名(入れ替わり有、看護師を含む)

【主な内容】

8月4日	開会式、アイスブレイク
8月5日	朝の勉強会、東京スカイツリー見学
8月6日	朝の勉強会、クイズ大会、科学実験教室、音楽会
8月7日	閉会式、写真スライドショー

夏休みに行われる3泊4日のキャンプは、クリスマスキャンプと並ぶ、夢のつばさプロジェクトの一大イベントです。学生・社会人スタッフは4月からこの1年の目標を立て、何度も集まって夏の企画を練り、様々な団体や支援者とも話し合い、準備を整えていきます。福島、宮城、岩手3県の教育委員会等に依頼して子ども達を募集し、参加者を決定します。宿泊の部屋割と食事の依頼、送迎班と子ども達の新幹線の切符購入、バスの予約や付添い学生の確定や費用見積り、保険加入など、楽しくも煩瑣な作業を経て、キャンプに突入です。

今回は社会見学として東京スカイツリーを訪れました。バス移動の際に渋滞もあって、第1展望台までとはなりませんが、数名ずつ大学生と連れ立ってソラマチを歩くのも楽しかった様子です。

3日目は、学生企画のクイズ大会で盛り上がり、一転してお茶大サイエンス&エデュケーションセンターの講師陣による科学実験教室で、集中して学びました。夕食後は本格的なクラシック音楽会が開かれました。社会人スタッフの一人(音楽事務所を主宰)が毎回のキャンプで音楽会をコーディネートして下さいます。最後には合唱と指揮のご指導をいただいて、皆の大好きな「翼をください」を歌いました。声が素直に美しく響いて、皆うれしそうに輝いていました。

このキャンプでは、子ども達の自律性や発信力が育つように、科学実験の結果発表を行うよう促したり、子どもスタッフが食卓の用意や音楽会の司会等を担当したりしています。子どもの多くは継続して参加しており、今回新たに参加した4名もすぐに打ち解けて、連日元気一杯楽しみました。今夏はたいへんな猛暑でしたが、幸い体調を崩す人もなく、スタッフは子ども達それぞれの小さな成長を見つけては喜びあい、新たな反省と意欲を持って取り組もうとしております。4月から専門学校生となった参加者も、今回からは学生スタッフとして頑張っています。

東京スカイツリー見学を様々なバックアップして下さった方々や今回も温かくご対応いただいた(株)ブリヂストン保養所の方々、そしていつも夢のつばさに心をお寄せいただき、この活動を篤く支えてくださる皆様方に、心より御礼申し上げます。引き続きご支援をよろしくお願いたします。

(夢のつばさ♥プロジェクト)



科学実験室：煙がこう流れたよ



クイズ大会



音楽会：指揮の指導



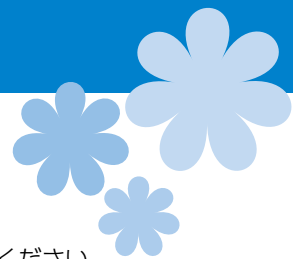
今日の夕食はビュッフェスタイル

寄付のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

【名称】特定非営利活動法人お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子(この口座は、夢のつばさ専用口座となっております)でご協力いただける範囲でご寄付賜りますれば幸いです。ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせくださいませ。領収書をお送りいたします(恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください)。

連絡先：事務担当 滝澤公子 TEL&FAX：03-5978-5362 Email：tsubasa@npo-ochanomizu.org



お茶の水女子大学 イベント情報

2015年10月以降に開催される各種イベントのお知らせです。詳細は、各主催者にお問い合わせください。

期日	イベント・講座名	参加費	備考
2015年10月30日(金) 12:30～12:50	図書館ミニコンサート ※演奏者：音楽表現(学)コース学生 ※ベヒシュタイン社製のピアノのコンサートです。	無料	【会場】附属図書館1階ラウンジ 【詳細】附属図書館のHP「コンサート情報」をご覧ください。 http://www.lib.ocha.ac.jp/concert.html 【問合せ】E-mail: lib-serv@cc.ocha.ac.jp 【申込み】事前申込み不要
2015年10月30日(金) 17:00～18:30	2015年度 第3回「女性のグローバルな活躍のためのワークショップ」 講師：赤堀 博美(赤堀料理学園6代目校長) 演題：「食」についての大切な話～世界に向けて旅立つ方へ」	無料	【会場】お茶の水女子大学本館 306室 【主催】お茶の水女子大学グローバル人材育成推進センター 【詳細】 http://www.ocha.ac.jp/intl/ocgl/global/workshop.html 【問合せ】wgws@cc.ocha.ac.jp (担当：細谷) 【申込み】事前申込み不要
2015年 ① 9/17 ② 10/8 ③ 11/12④ 12/10 (全て木曜日) 18:30～20:00	2015 FFF 健康食品フォーラム ～食品は疾病リスクをどこまで改善できるか～ 全4講座 〈第3回〉テーマ：食品はどの程度、高血圧を予防できるのか？ 講師：吉田 博(慈恵会医科大学 教授) 〈第4回〉テーマ：食品はどの程度、肥満を予防できるのか？ 講師：板倉 弘重(茨城キリスト教大学 名誉教授)	各講座 ¥3,000	【会場】お茶の水女子大学 大学本館 103室 【主催】NPO 日本健康食品評価認証機構 【詳細】 http://www.jact-fff.or.jp/forum.html 【問合せ・申込み】NPO 日本健康食品評価認証機構 Tel: 03-3565-6649
2015年12月12日(土)、 13日(日) 9:00～17:30	第3回 GREAT-Ocha (学部生による英語での卒業研究発表シンポジウム) テーマ：「異文化どうしが出会う時、起きること」	無料	【会場】お茶の水女子大学 大学本館 213室 【主催】お茶の水女子大学グローバル人材育成推進センター 【詳細】当センター HP http://www.ocha.ac.jp/intl/ocgl/global/great_ocha.html 【問合せ】great-ocha@cc.ocha.ac.jp (担当：石田) 【申込み】事前申込み不要
2015年11月20日(金) 17:00～18:30	2015年度 第4回「女性のグローバルな活躍のためのワークショップ」 講師：ロリ・ヘンダーソン(在日英国商業会議所・専務理事)	無料	【会場】お茶の水女子大学本館 124室 【主催】お茶の水女子大学グローバル人材育成推進センター 【詳細】 http://www.ocha.ac.jp/intl/ocgl/global/workshop.html 【問合せ】wgws@cc.ocha.ac.jp (担当：細谷) 【申込み】事前申込み不要
2015年12月4日(金) 17:00～18:30	2015年度 第5回「女性のグローバルな活躍のためのワークショップ」 講師：エリカ・アンギャル(栄養コンサルタント、オーストラリア PR 大使、 http://www.ericangyal.com)	無料	【会場】お茶の水女子大学本館 306室 【主催】お茶の水女子大学グローバル人材育成推進センター 【詳細】 http://www.ocha.ac.jp/intl/ocgl/global/workshop.html 【問合せ】wgws@cc.ocha.ac.jp (担当：細谷) 【申込み】事前申込み不要
2016年1月9日(土) 13:00～15:50	お茶の水女子大学、芝浦工業大学、物質・材料研究機構 合同シンポジウム 「女性が上位職者として活躍できる環境とは？(仮)」 ※臨時託児サービスがあります(要事前予約)	無料	【会場】お茶の水女子大学 大学本館 306室 【主催】平成26～28年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業 女性研究者研究活動支援事業(連携型) 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/renkei/ 【問合せ】お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 E-mail: frsp-info@cc.ocha.ac.jp 【申込み】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/renkei/20160109_symposium/

お茶の水地理学会講演会

共催・お茶の水学術事業会

テレビ報道の現場

講師：原 聡子 氏
(H11地、日本テレビ放送網(株))
日時：12月12日(土) 14:00～16:00
会場：お茶の水女子大学 本館 306

入場無料 要予約 一般公開・先着50名

【申込み】どなたでもご参加いただけます。葉書・Emailのいずれかで、住所・氏名・電話番号を必ず記入のうえ、下記までお申し込みください。卒業生の方は、卒年・卒業学科をご記入ください。
〒112-8790 文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 文教育学部 地理学教室
Email: chirilog@yahoo.co.jp
締切り：11月30日(月)
みなさまのご参加をお待ちしております。

お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 冬学期

1月：コーポレート・ガバナンス / CSR と情報開示

2016年1月9日・16日(土) 13:30～15:00(90分) 15:10～16:40(90分) **「コーポレート・ガバナンスと組織・企業のマネジメント」** 松田 一敬 合同会社 SARR 代表社員・業務執行社員

2016年1月23日・30日(土) 13:30～15:00(90分) 15:10～16:40(90分) **「CSRと情報開示 (ステークホルダーの視点から)」** 達脇 恵子 有限責任監査法人トーマツ パートナー

2月：企業と法律

2016年2月6日・13日・20日・27日(土) 13:30-15:00(90分) 15:10-16:40(90分) **「女性リーダーが使える ビジネス関連の法律」** 汐崎 浩正 西村あさひ法律事務所 弁護士(パートナー)

【受講料】1講座 30,000円(一般)、27,000円(卒業・修了生)
 【申込期間】2015年12月1日(火)～12月15日(火)
 【申込方法】申込期間内に初回申込に限り郵送(郵送以外不可)で下記へお送りください。
 【申込書類送付先・問い合わせ先】〒112-8610 文京区大塚 2-1-1 お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 事務局
 TEL: 03-5978-5501(水・金 午前10時～午後5時) E-mail: kiin-le@cc.ocha.ac.jp
 ※ 詳細は、お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 HP (<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/>) をご確認ください。

お茶の水女子大学
 きいんさい
第66回 徽音祭
 2015年11月7日(土)・8日(日)開催

テーマ:140にお茶女?(いっしょにおちゃしょ?)
 今年で創立140周年を迎えるお茶の水女子大学の歴史ある魅力をお伝えし、学生と来場者の方々が一緒に楽しめる2日間を作り上げます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

様々なステージ企画や充実した模擬店、緑日や指圧といったどなたにもお楽しみいただける企画が盛りだくさんです!

お茶の水女子大学らしさが詰まった学術発表企画もございます。

文京区ハッピーベイビープロジェクトによる健康相談ブースや、140周年記念のお神輿など、今年ならではの企画も多数ございます。是非お越しください!

詳しくは徽音祭公式ホームページをご覧ください。左のQRコードからアクセスできます。
 URL: <http://kiinse.org/>

徽音祭キャラクター きいちちゃん

ご存知ですか? お茶大グッズ

お茶大生協で販売されているお茶大グッズには、ボールペン、Tシャツ、トートバッグといった定番商品だけでなく、がま口、お箸、傘、バッグハンガーなどのユニークな小物もいろいろとあります。

2015年初夏には、大学グッズ開発卒業生プロジェクト【Ms.Ocha(ミズオチャ)】の第一弾グッズ「Ms.マグ & ミニプレート」(1,500円)が発売されました。ブランド名には、「グッズに大学名を入れなくとも、卒業生に大学とのつながりを感じてもらいたい」との思いが込められており、今後も卒業生と共同でさまざまなライフスタイルに合わせた商品の開発を行っていきます。

2015年春の数量限定グッズ シリコン製お茶ネコがまぐち(600円)

徽音祭では新商品も発売される予定です。お楽しみに!

巾着袋付きのハート形バッグハンガー(520円)は発売後半年で700個が売れた人気商品

Ms.マグ&ミニプレート

※詳細は、<http://www.ocha.ac.jp/goods/> をご覧ください。
 ※売上の2%は、大学生協の協力によりNGO「Room to Read」に寄付され、発展途上国の女子が学校に通うための長期奨学金になります。
 ※商品に関するお問い合わせは、お茶の水女子大学消費生活協同組合(TEL 03-3947-8333 / FAX 03-3947-9922)まで

お茶の水学術事業会事務局よりお知らせ

●平成27年度「共催・助成金」事業

1. 共催講演会

■桜蔭会石川支部 講演会

「みがかずば 一学ぶ意欲のあるすべての人が輝き続けるために」

【講師】鷹野 景子(お茶の水女子大学教授) 【開催日】2015年10月17日(土)

■お茶の水地理学会 講演会

「テレビ報道の現場」

【講師】原 聡子(H11地、日本テレビ放送網(株))

【開催日】2015年12月12日(土)

2. 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業(助成金事業)

■北原 靖子・加藤 知佳子

「シニアと児童と一緒に参加するまなび(演劇ワークショップ)促進効果の調査研究」

【実施期間】2015年8月～2016年3月

■桜蔭会神奈川支部

「ミツハタさんと考えてみよう 授乳期ママの社会参加スタイル」(ワークショップ)

【開催日】2015年9月26日(土)

●平成28年度「共催・助成金」事業の受付について

〈受付期間〉2016年1月18日(月)～5月9日(月)

〈申請方法〉HPから申請用紙をダウンロードしてご記入のうえ、必要書類と併せてメール添付または郵送で、下記までお送りください。

〈申請書類の提出・お問合せ〉お茶の水学術事業会事務局

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学理学部3号館204

Email: info@npo-ochanomizu.org TEL: 03-5976-1478 (月～金 10時～16時)

※詳細は、お茶の水学術事業会 HP の「共催・助成金」(<http://www.npo-ochanomizu.org/kyousai.html>) をご覧ください。

「お茶の水女子大学 E-bookサービス」のご案内

<http://www.lib.ocha.ac.jp/e-book/>

お茶の水女子大学の研究・教育成果としての著作を無料でPDF閲覧またはダウンロードできます。

Book List

◆『王安石及び宋詩別裁 五言絶句訳注』(2015.3)

盆詩の会(代表:和田英信) 著

◆『古今和歌六帖全注釈』※

① 第一帖(2012.3) ② 第二帖(2014.6)

古今和歌六帖輪読会(代表:平野由紀子) 著

◆『お茶大 Plone の使い方』1巻・2巻(2014.3)

石田千晃、青砥早希、五島杏奈 作 / 横山美鶴 イラスト

◆『体重管理のためのカード教材(ベストアドバイザー FOR ダイエット)』

(2014.1) 赤松利恵、新保みさ、玉浦有紀 作

◆『Java プログラミング入門』(2013.10) ※

伊藤貴之 著

◆『近世日本の儒教思想—山崎闇斎学派を中心として』(2012.3) ※

高島元洋 編著、大久保紀子、長野美香 著

※オンデマンド出版による製本版(有料)があります。ご希望の場合には、「オンデマンド出版」のボタンをクリックし、お茶の水学術事業会 HP 内「E-book ご注文フォーム」(<http://www.npo-ochanomizu.org/E-book/>) よりご注文ください(お申込みから納品まで1ヶ月程度かかります)。

ライフサイエンスから生まれたスキンケア

細胞生物学の最先端研究の中で室伏教授が発見した新成分 cPA (シーピーイー) は、あなたの体内のヒアルロン酸を増やして、本来あるべき良好な状態に導きます。雅Graceは cPA を配合した世界初のスキンケアです。

室伏きみ子(お茶の水女子大学長) 監修

新成分
cPA
配合



売り上げの一部は、
大学へ寄附されます

雅Grace 定価(本体価格)

グレイス化粧水 (150ml) 6,000円

グレイス乳液 (100ml) 7,000円

グレイス美容液 (30ml) 9,000円

※写真は、グレイス化粧水 150mLです。

美しく見える肌ではなく、ほんとうに美しい肌へ。
雅Grace —グレイス—、誕生。

販売元: SANSHO株式会社 TEL 03-5203-0716 WEB <http://c-pa.jp/>

なお、お茶の水学術事業会で、特別価格でお取り扱いをしております。詳しくは、本会事務局まで お問い合わせください。

E-mail: info@npo-ochanomizu.org TEL & FAX: 03-5976-1478

お茶大ゴルフ 好評発売中!!



ご注文・お問合せは お茶の水学術事業会まで!

TEL&FAX 03-5976-1478

E-mail: info@npo-ochanomizu.org

● 本体価格 600円 *消費税・送料が加算されます。

* 会員および大学・附属学校園の卒業生、教職員など、関係者の方には割引があります。

● 6袋(計12枚)入

● ばにら・ちょこ・いちご味

編集後記

この秋は、女性専用コ・ワーキングスペースをお借りして女性のための「もう一度お仕事しませんか?」講座(全4回)を実施しています。「Co-working space」は、単なる仕事空間ではなく、集まるメンバーがお互いに刺激しあい、情報と知恵を共有する場を意味するそうです。パワフルな講師や意欲的な受講生の方々から私たちスタッフも良い刺激をいただいています。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は2016年1月に2500部発行予定です。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1回につき20,000円。詳しくは下記までお問い合わせください。

事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館204

TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org

<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分

都バス
大塚2丁目バス停すぐ